



探究を見学！授業実践「家庭総合×理数化学」

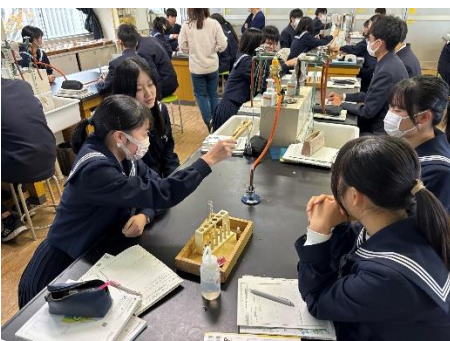
概要

- 授業者：川南ゆかり（家庭科）×谷地祐介（理科）
- 日時・対象：令和5年11月27日（月）／2年生環境科学科
- 内容：教科横断型授業「米の成分や特徴について、家庭と化学の両面から考える」

導入 炭水化物（糖類）について、家庭サイド&化学サイドから説明



展開 もち米とうるち米について、ヨウ素デンプン反応の実験をもとに、さまざまな問いに挑戦！
大学入試問題にも挑戦しました。

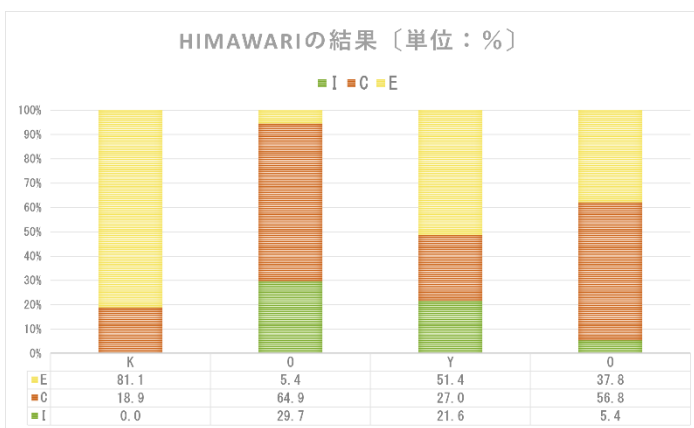


まとめ 家庭の教材をもとに化学の視点から「新たな探究の問いの設定」→「HIMAWARI」で振り返り

●授業者が目指す授業、成果と展望、本時の感想など

今回の授業では探究の過程で育む「KOYO の力」のうち、「Kizuku」と「Yomu」に注目して授業を設計

しました。家庭の授業で学んだことと、化学の内容や実生活の内容などとのつながりに気づくこと、また、仮説を立て、立てた仮説が適切か検証し、必要に応じて仮説を再設定することを目的としました。通常の化学の授業では、単元ごとに HIMAWARI を実施していますが、この2つの力が E レベルに達する割合が少なく、課題に感じていました。しかし、今回の家庭×化学の教科横断型授業では、前述した項目について E レベル



に達した生徒の割合が通常授業と比較して増加しました。結果を右図に示します。今後も教科間のつながりを意識しながら授業を設計していければと考えています。